

《深谷はばたき特別支援学校の活性化・特色化方針》
(令和3年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・ 学科	小・中・高等部	児童 生徒数	(男) 195 (女) 83	計 278
ホームページ	http://www.habataki-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	秩父鉄道秩父線 武川駅下車 徒歩15分					
教育課程等 の特徴	<p>○全学部において担外の自立活動部と連携し、自立活動の時間の指導の充実を図っている。</p> <p>○全校共有の発達検査(太田ステージ評価の実施と活用)を行っている。</p> <p>○小中高のつながりのあるキャリア教育を進め、12年間の体系的な指導を図っている。</p> <p>○本校独自の教育支援プラン作成マニュアルが完成し、支援プラン作成と活用の充実を図っている。</p>					
特色ある 学校行事や 部活動	<p>○文化祭(メロンフェスティバル)は、多くのボランティアの協力を得ながら、ステージ発表、作品展示、作業製品の展示及び頒布、交流事業等の内容で行う、本校の一大行事である。</p> <p>○高等部の運動部は、特体連等の大会に向け、課業日は陸上競技・サッカー・バスケットボールに週4日取り組み、好成績を挙げている。</p>					
家庭・地域 との連携	<p>○学校公開週間を6月と10月に設定(年2回)している。</p> <p>○近隣の小中学校との交流及び共同学習を、双方の学校を訪問しあう形で行っている。</p> <p>○高等部作業班が、地域の施設の清掃活動や、地域での作業学習製品の展示及び頒布会を積極的に行っている。</p> <p>○約60名の児童生徒が通常学級支援籍学習を、約5名の児童生徒が特別支援学校支援籍学習を行っている。また、未就学児を対象とした親子教室を実施している。</p> <p>○地域の篤志家を中心にした後援会に大きな支援をいただいている。</p>					
進路に ついて	<p>○保護者対象の説明会を早期から実施する等、最新の情報提供を行っている。</p> <p>○企業就労は約40%、福祉的就労が約55%、進学その他が5%となっている。 [企業就労]製造業(金属加工・食品等)、サービス業(レストラン)、老人介護施設等 [福祉的就労]主に深谷市・熊谷市・寄居町の福祉施設に就労。</p> <p>○小学部・中学部の児童生徒は、それぞれ中学部・高等部に進学しています。</p>					

(※児童生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3卒業生の実績)

県立深谷はばたき特別支援学校

児童生徒の成長物語



ポニーを活用した教育活動

卒業後
3年間の
追指導

進路実現

高等部

高等部の目標

- ・自立した生活を目指し、仲間や地域社会と積極的に関わる生徒
- ・家庭生活や職業生活に必要な能力を高め、進路実現に向けて実践する生徒
- ・主体的に物事を考え行動に責任を持つ生徒

中学部

中学部の目標

- ・基本的な生活習慣を身につけ、物事に主体的に取り組む生徒
- ・自分の役割を知り、社会生活に必要なルールに沿って行動できる生徒
- ・友達を思いやり、協力して生活する生徒
- ・先生や友達に相談しながら自分で決めることができる生徒

小学部

小学部の目標

- ・こころもからだも元気な子
- ・基本的な生活習慣を身につけようとがんばり、意欲的に取り組む子
- ・楽しく、元気に、仲良く遊ぶ子
- ・自分の気持ちや要求を伝えられる子

統一したアセスメントによる客観的な実態把握

地域での作業製品の展示と頒布



作業学習

高等部は農作業・メンテナンス・陶芸・木工・手工芸・革工芸の6班。中学部は農作業・陶芸・木工・紙リサイクルの4班で活動。



12年間の生活習慣の確立・社会的マナーの獲得
個に応じた指導、主体的なキャリア教育
基本的な生活習慣の確立・社会的マナーの獲得
個に応じた指導、主体的なキャリア教育

高等部では企業や事業所と連携し、2週間の現場実習を年間2回(1年生は1回)、中学部は3日間の現場実習を行っています。

社会体験



はばたきのアイドル「メロリン」



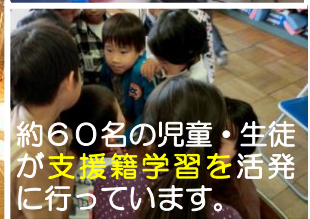
地域の小・中学校との交流会



感動を共有する学校行事



個に応じた指導



約60名の児童・生徒が支援籍学習を活発に行っています。

早期支援

親子教室の実施
教育相談事業
関係機関との連携

PTA 活動との連携

- [本部] 理事会だよりの発行 意見交換会の実施
- [進路対策部] 企業及び事業所見学会 進路講演会の実施等
- [地域支援部] 地域保護者交流会 ベルマーク収集
- [厚生部] 親子レクの実施 文化祭への参加
- [広報部] PTA 広報の編集・発行